

令和 6 年度
2040 年を見据えた保健師活動のあり方に関する検討会
開催要綱

1 趣旨

地域における保健師の活動は、地域保健法及び同法第 4 条第 1 項の規定に基づき策定された「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」（平成 6 年厚生省告示第 374 号。以下「地域保健指針」という。）により実施されている。これらの地域保健対策の主要な担い手である保健師がその専門性を発揮できるよう「地域における保健師の保健活動について」（平成 25 年 4 月 19 日厚生労働省健康局長通知。以下「保健師活動指針」という。）を策定している。

2040 年に向けて、さらなる人口構造や社会環境の変化を迎える中で、引き続き地域において保健師が保健活動を展開していくためには、自治体保健師の確保・育成を含め、施策の優先順位や重点化を意識し、効率的・効果的に保健活動を進めていく必要がある。保健師活動指針と一体的に運用されている現在の地域保健指針の内容との整合を図るとともに、2040 年を見据えた地域における保健師の保健活動のあり方を議論することとする。

2 検討内容

- (1) 今後の保健師の保健活動のあり方に関する論点整理及び方向性の検討
- (2) 地域保健指針との整合性を図るための検討

3 構成員

- (1) 本検討会は、地域保健及び地域医療並びに保健師の活動について知見を有する者 10 名以下で構成する。
- (2) 本検討会には、座長を置く。
- (3) 本検討会には、必要に応じて別紙に掲げる構成員以外の有識者等の出席を求めることができる。

4 検討会の運営

- (1) 検討会の議事や会議資料及び議事録は、別に検討会において申し合わせた場合を除き、公開とする。
- (2) 令和 6 年度の地域保健総合推進事業（「2040 年を見据えた保健師活動のあり方に関する検討」代表者：春山早苗）の中で検討会を開催し、検討会の庶務は、日本公衆衛生協会において行う。
- (3) この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、座長が定める。